

理解が深まる！ 未来が広がる！

こどもの成長と発達についての課題を知り、
こどもたちの幸せな未来を拓くための各種支援のご案内です。



発達障害は
一人一人違う特性があり、
それぞれに個別の支援が
必要です！

ひろこは[®] システム

早期発達評価（アセスメント）支援 Webスクリーニングシステム

ひろこは[®] のスクリーニングは弘前大学の研究成果を活用したものです



株式会社 弘前子ども発達支援センター

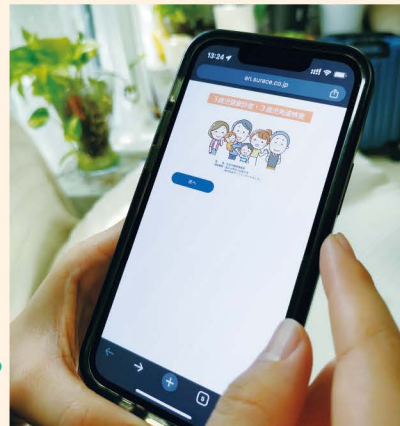
ひろこは...*

※ ひろこは は、弘前大学発ベンチャーです



ひろこは® Webスクリーニングシステムの特徴

- ① 早期発達評価スクリーニングを Web アンケートで行える
- ② 1人ひとりの「個人結果票」を作成できる
- ③ 発達が「気になる子」を把握できる
- ④ 発達を“見える化”することで、保護者も納得して支援を受けられる
- ⑤ 子育て中の忙しい時間の合間にも、Web アンケートに答えられる
- ⑥ システムで結果が得られるため、個人結果票の作成がスムーズ
- ⑦ 3歳版と5歳版が利用可能



3歳児 Web スクリーニング システム

3歳児を対象とした発達早期評価（アセスメント）を行うことができる Web スクリーニングシステムです。3歳児健診時に導入することで、半数以上見逃されてきた発達障害（特に高機能の自閉スペクトラム症や注意欠如多動症、軽度知的障害など）のリスクに気付くことができます。

アンケート調査対象 ・ 3歳児の保護者

3歳児の「ひろこは®システム」では、約11～12%のリスク児を抽出します。行動観察や発達相談の必要性の目安になります。Web アンケートには、顕在化しにくい発達障害のスクリーニング（CLASP-3y）や睡眠障害の評価（JSQP）、国のアンケートを追加して実施することができます。

以下の尺度で、発達評価（アセスメント）を個人結果票として作成します。

使用する尺度名	尺度でとらえているもの	下位項目
社会性発達 スクリーニング 14項目 (SSD14®) 実用新案登録 第3240645号 ※本尺度は厚生労働科学研究により開発されました。	社会性の発達 (周囲とのかかわり)	・ 友達関係 ・ 多動／不注意 ・ 周囲への気づき ・ 状況の理解 ・ 相互のコミュニケーション ・ 関心や緊張 ・ こだわり行動

※斉藤まなぶ他「乳幼児健診での言語に関わる障害の早期発見尺度の検証、依存症の調査研究」
R1～2年度厚生労働科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業）分担研究報告書
https://mhlw-grants.niph.go.jp/system/files/report_pdf/202018006A-buntan5.pdf

5歳児 Web スクリーニング システム

(特許第7253782号)

5歳児を対象とした発達早期評価（アセスメント）を行うことができる Web スクリーニングシステムです。スクリーニングの結果から、こどもの特性の多様性が示され、こどもと接する多様な現場での早期発達支援にご活用いただけます。

アンケート調査対象 ・ 5歳児の保護者
・ 教育・保育施設教職員
(教師・保育士)

5歳児の「ひろこは®システム」は、右の尺度の点数を組み合わせることで発達障害のリスクのあるお子さんを抽出します。過去の実績では約15～20%のお子さんが精密健診の対象となり、その約90%が要支援または要観察と診断されています。

以下の尺度で、発達評価（アセスメント）を個人結果票として作成します。

使用する尺度名	尺度でとらえているもの	下位項目
SDQ 子どもの強さと 困難さアンケート ※この尺度のみ保護者・ 保育士両方で評価して いただきます	特別な支援の必要性 (25項目)	・ 気持ちの安定 ・ 困らせる行動 ・ 落ち着き度 ・ 他の人とのやりとり ・ 思いやり行動 ・ 生活の困り感
ASSQ 高機能自閉症尺度	自閉スペクトラム症の 傾向 (27項目)	・ 他の人とのやりとり ・ こだわり
ADHD-RS ADHD 評価尺度	注意欠如多動症の傾向 (18項目)	・ 集中力 ・ 落ち着き度
DCDQ 発達性協調運動尺度	発達性協調運動症の傾向 (15項目)	・ 体のバランス ・ 手先の器用さ ・ てきぱき度
PSI-C 育児ストレス尺度 (子どもの側面)	保護者の育児ストレスの 状況 (41項目)	・ 子育ての大変さ

注）第三者機関が権利を有する尺度のライセンス料は弊社が負担いたします。

個人結果票（保護者向け）

ひろこはシステムでは、スクリーニングの結果を、「個人結果票」としてお返しします。スクリーニングの結果から、こどもの特性の多様性を知ることができ、こどもと接する多様な現場での早期発達支援にご活用いただけます。

※3歳児用と5歳児用があります。

個人結果票（支援者向け）

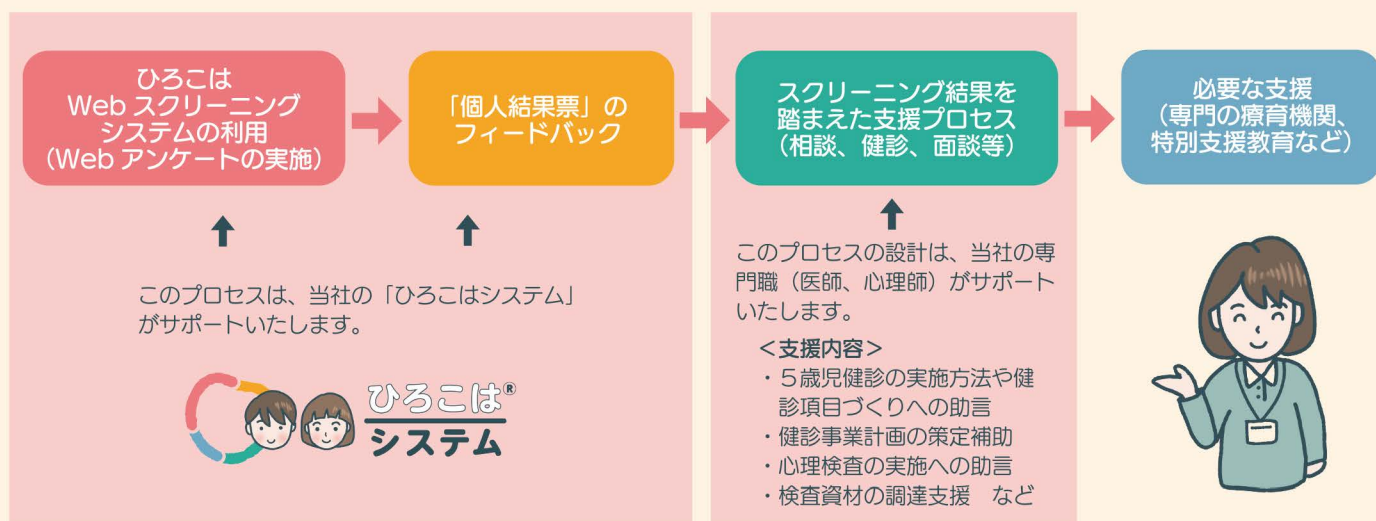
支援者（専門職）向けには、より詳しい結果を確認できるアウトプットをご提供いたします。また、支援者向けの「活用マニュアル」をご用意しています。

活用マニュアル



スクリーニング後のプロセス設計支援

当社は、スクリーニングシステムの提供だけでなく、5歳児健診の設計や事業計画の策定補助など、スクリーニング後のプロセス設計も支援いたします。



発達障害とは

発達性協調運動症 DCD

知的発達症(知的障害)

注意欠如多動症 ADHD

自閉スペクトラム症 ASD

知的な遅れを伴うこともあります

自閉症

広汎性発達障害

アスペルガー症候群

注意欠陥多動性障害 AD/HD

- 不注意(集中できない)
- 多動・多弁(じっとしてられない)
- 衝動的に行動する(考えるよりも先に動く)

学習障害 LD

- 「読む」、「書く」、「計算する」等の能力が、全体的な知的発達に比べて極端に苦手

限局性学習症 SLD

※このほか、トゥレット症候群や吃音(症)なども発達障害に含まれます。

- 言葉の発達の遅れ
- コミュニケーションの障害
- 対人関係・社会性の障害
- パターン化した行動、こだわり

- 基本的に、言葉の発達の遅れはない
- コミュニケーションの障害
- 対人関係・社会性の障害
- パターン化した行動、興味・関心のかたより
- 不器用(言語発達に比べて)

出典：政府広報オンライン
https://www.gov-online.go.jp/featured/201104/index.html

枠内は、5歳で見つけない発達障害。

早期発達評価のメリット

切れ目のないサポート

身近な場所で

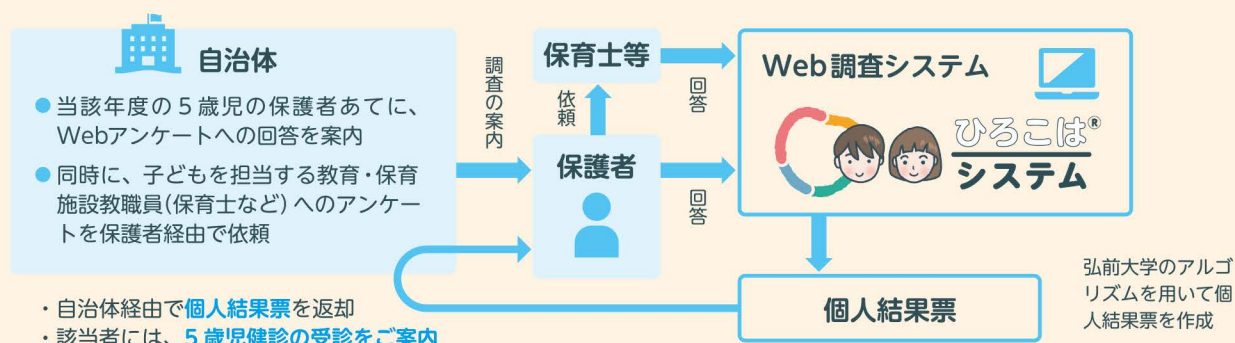
得意なこと
苦手なことを
みんなが知れる

生きづらさを
軽くする

家族を支える



システム利用のプロセス



保護者と保育者にWebアンケートにご回答いただき、個人結果票を作成します。(3歳は保護者のみ)

Web 調査 の流れ

標準的な調査プロセス

役 割	準備(2W程度)	調査の実施(1～2M)	調査結果報告 (1M程度)
自治体	●対象者リストの作成、対象者管理 ●調査プロセスの検討・調整 	●案内状の作成・発送 ●回答状況の確認(管理画面の活用) 	●結果の確認(管理画面) ●個人結果票の印刷と送付 
弊 社	●調査実施コンサルテーション ●Web調査の準備 ●ID、PASSの発行 ●保育者研修会	●Web調査の実施 	●納品データファイルの作成・納品 ●ケースコンサルテーション(オプション) 

追加プロセス

独自アンケート等のプロセスを追加する場合には、上記の表に加えて2～3か月程度の時間が必要となります。

◇独自(追加)アンケートのWeb実施

◇導入前コンサルテーション(追加プロセスの実施には導入前コンサルテーションが必要となります。)

◇スクリーニング後のプロセス設計(5歳児健診の設計、各種研修プログラム実施等)

費用

基本セット

◇基本料金:5歳児または3歳児1人あたり1,500円(税別)

・サーバー、クラウド利用料、データファイル作成料等を含む標準プロセスに関する料金です。

◇システム管理料:調査1回あたり20,000円(税別)

・調査実施回数に応じて、上記システム管理料が発生します。(20,000円×年間調査実施回数)

◇コンサルテーション料:内容に応じて、下記コンサルテーション料が発生します。

・調査実施コンサルテーション(調査実施への助言を行う、弊社担当者の人件費です。)

・保育者研修会(保育者による5歳児の評価について、保育者研修会を行います。)

オプション

◇ケースコンサルテーション料

・当社専門職が、調査結果を踏まえて、1人ひとりの支援の方向性への助言を行います。

◇独自アンケートの追加実施

・自治体独自のアンケート項目の追加、他の尺度調査の実施などを支援します。

◇スクリーニング後のプロセス設計

・当社専門職が、5歳児健診の実施方法やプログラムの設計、心理検査の実施方法への助言や必要資材の調達などを支援します。

・Webによるグループペアレントトレーニング、支援者研修の実施等も可能です。

株式会社 弘前子ども発達支援センター(ひろこは)

未来を担う子どもたち一人ひとりが自分らしく健やかに成長し、輝く可能性を見出される社会を願って、2024年2月に設立いたしました。発達に偏りをもつお子さんの個性を尊重し、適切な関りによって、発達における課題を解決するために保護者や支援者をサポートします。

ひろこはのサービス

■ 導入時のコンサルティング

- ・スクリーニングを起点とする一連のプロセス設計への助言を行います。
- ・調査実施プロセスにおいて、事業担当者の相談に応じて助言や提案を行います。
- ・支援関係者を対象に、発達障害の理解、スクリーニングや結果の活用法の説明や研修を行います。
- ・保護者からよくある質問に対するQ&Aや対応マニュアルを提供します。
- ・独自アンケートの追加実施、保育園や事業所向けの研修会なども可能です。

■ 導入後のコンサルティング

- ・リスク児への対応や保護者への説明についてのコンサルテーション(心理師や医師によるWebカンファレンス)を行います。
- ・導入後も、事業担当者の相談に応じて助言や提案を行います。
- ・調査結果についての分析が可能です。

■ 専門的な支援

- ・5歳児健診の実施方法やプログラムの設計、5歳児健診事業計画の策定補助、心理検査の実施方法への助言や必要資材の調達など、専門的な支援を行います。
- ・Webのできる療育サービスについて、ご相談に応じます(地域や専門家の状況によります)。

代表取締役

斉藤 まなぶ (弘前大学大学院 保健学研究科 教授)

子どもたちは一人一人が唯一無二の存在で生まれてきます。発達のスピードは十人十色。でも、時に子どもの発達が緩やかであることに、保護者や周囲が気付くことがあります。このWebスクリーニングは、自治体などへの相談のきっかけを作り、子どもと保護者を速やかに支援につなげる流れを作ります。



お気軽にお問い合わせください!

ひろこはシステムの内容説明、資料提供、お見積り等については、下記担当者までお気軽にお問い合わせください!

E-Mail y.yamamura@hirokoha.com

TEL 080-5822-0126(担当:山村)

株式会社 弘前子ども発達支援センター

E-Mail info@hirokoha.com

URL <https://hirokoha.com>

